

令和 2 年 11 月 27 日

杉並区長 田中 良殿

杉並区議会公明党  
幹事長 渡辺 富士雄

新型コロナウイルス感染症対策  
医療機関への追加支援に関する要望書

本年 4 月、新型コロナウイルス感染症患者の急増に対し、区が迅速に区内 4 基幹病院の経営を支えるとともに、その後も、PCR 検査バスの導入や区内診療所に対する費用助成を行い、区民が速やかに診療・検査を受けられる体制を積極的に整備してきたことは、早期の感染防止対策と区民の大きな安心につながったものと評価しています。

しかし、11 月中旬以降、陽性者が急増し、病床の確保や医療従事者の継続的な確保が困難になる局面が来ることも懸念されます。

我が党は、再び医療崩壊の危機が迫りつつあるとの認識から、区民の生命と健康を守るために、区内 4 基幹病院に対する包括補助金の有効活用を含め、迅速に予算を確保し、医療提供体制の維持のための早急な対策の実施を下記のとおり要望します。

記

1. 医療従事者支援

医療従事者が継続的に医療・看護に専念できるために、医療機関が従事者に対する諸手当の支給を行うなど、処遇に十分配慮できる支援策を講じること。

2. 検査実施医療機関支援

PCR 検査を実施する診療所は、基幹 4 病院に比べて従事者の数や機材等が十分でなく、ひとたび従事者が感染すれば、瞬く間に休業を余儀なくされる。患者の診療・検査に懸命に取り組み、地域医療を支える診療所等に対する支援を行うこと。

3. 入院体制強化

区内 4 基幹病院において、病床の確保に必要な経費の助成や人材確保支援をするなど、今後の感染拡大を見据えた追加の支援策を実施すること。

以上